

2020年5月20日

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社

ビオ ネット イニシアチブ

生物多様性保全への取組み「**BIO NET INITIATIVE**」が 「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）認定連携事業」に認定

三菱地所レジデンス株式会社の新築分譲マンション「ザ・パークハウス」における生物多様性保全への取組み「**BIO NET INITIATIVE**（ビオ ネット イニシアチブ）」が、2020年4月7日、「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）認定連携事業」（以下、UNDB-J）に認定されました。



この事業は
「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」
が推奨する事業として認定を受けています。

UNDB-Jとは、2010年10月に愛知県名古屋市で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）で採択された「愛知目標」^{※1}の達成に向け、各セクターの参加と連携を促進させるため、「にじゅうまるプロジェクト」^{※2}等の中から委員会が推薦する連携事業を認定するものです。今回は第16弾となり、「**BIO NET INITIATIVE**」を含めて10件が認定されました。

連携事業に認定されたことで、「**BIO NET INITIATIVE**」は、UNDB-Jのウェブサイトや、UNDB-Jが実施する生物多様性全国ミーティング、生物多様性地域セミナー等において紹介されるなど、積極的な広報がなされるため、マンション開発における緑地整備を通じた生き物の生態系を守るまちづくりを行うリーディングプロジェクトとして生物多様性向上への貢献が期待できます。

※1 「愛知目標」

2050年までの長期目標（Vision）として「自然と共生する世界の実現」、2020年までの短期目標（Mission）として「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」ことを掲げている。併せて、短期目標を達成するため、5つの戦略目標と、その下に位置づけられる2015年または2020年までの20の個別目標を定めている。

※2 「にじゅうまるプロジェクト」

生物多様性の損失を止めるための活動に取り組んでいる団体（自治体・企業・NGO・教育関係）とその活動を登録し、「愛知目標」の達成を目指しているキャンペーン。三菱地所レジデンスも登録している。

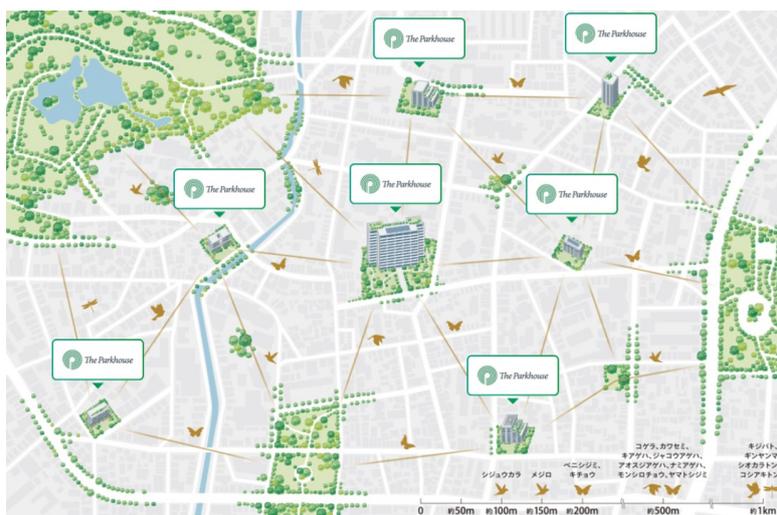
三菱地所グループは、「長期経営計画」で定めた持続可能な社会に向けた「三菱地所グループのSDGs 2030」における4つの重要テーマの一つ「**Environment**」として「気候変動や環境課題に積極的に取り組む持続可能なまちづくり」を進めており、三菱地所レジデンスでは、「**BIO NET INITIATIVE**」をはじめ、太陽光発電「soleco」の導入、18プロジェクトでのABINC認証取得など、環境に配慮した取組みを実施しています。今後も、住まいづくりを通して環境負荷軽減を図り、人・街が喜ぶまちづくりを目指してまいります。

<連携事業認定のポイント>

■「BIO NET INITIATIVE」事業概要 (<https://www.mecsumai.com/bionetinitiative/>)

- ・分譲マンション敷地内の植栽設計で、協力造園業者と連携した緑化計画を実施することでマンション敷地が生き物飛来の中継地となり、地域に「緑のネットワーク」を広げていく取組みで、2015年2月より実施しています。特定外来種等の侵略的外来種を採用せず、地域に馴染みのある木（在来種）を植える等の独自基準を、マンションの規模に関わらず標準的に採用しており、導入物件は175件となります。
- ・今後は、標準的な導入を継続するとともに、植栽を維持・管理していく居住者が取組みの意義を理解し、共感と愛着を持って維持できるよう、管理会社と協力して入居者への直接的な啓蒙活動にも取り組んでいきます。

ザ・パークハウスの、いのちをつなぐ街づくり。



■認定のポイント

認定のポイントとして、①多様な主体の連携 ②取組みの重要性 ③取組みの広報の効果の3点があげられています。「BIO NET INITIATIVE」は以下の通り評価されました。

- ① 多様な主体の連携：複数の企業による連携や協働を促進する動き。
- ② 取組みの重要性：マンションの緑地空間における生物多様性配慮を通じて、都市における生物多様性の向上に貢献する取組み。
- ③ 取組みの広報の効果：類似の取組みが他の地域に展開していくことが期待される。

<長期経営計画 2030 で定めた「三菱地所グループの SDGs2030」>

三菱地所グループは、サステナブルな社会の実現に向けて、「Environment」「Diversity & Inclusion」「Innovation」「Resilience」の4つの重要テーマについて、より幅広いステークホルダーに、より深い価値を提供します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

